

愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い 教育長あいさつ

令和元年 7月27日（土）
生涯学習センター 県民小劇場

本日、多数の皆様をお迎えして、令和元年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」を開催できますこと、心からお礼申し上げます。

皆様方には、日頃より、県内各地において、それぞれのお立場から愛媛の子どもたちの健やかな成長のために御尽力をいただいております、誠にありがとうございます。

また、御来賓として、文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長 水田 功 様の代理で、家庭教育支援室長補佐 榎木 奨悟 様の御臨席を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年7月の西日本豪雨災害では、本県においても、近年例をみない甚大な被害が起きました。県内をはじめ全国各地から数々の心強い御支援をいただきましたことに対し、感謝の意を表しますとともに、今後も復旧・復興に全力を尽し、被災した児童生徒に対する心のケアや学習支援、就学支援等の継続した支援及び防災教育の推進を図ってまいります。

さて、次代を担う子どもの健やかな成長は、社会全体の願いではありますが、近年、地域や家庭の教育力の低下、子どもの貧困、教師の負担増の問題等、子どもを取り巻く問題の複雑化や困難化が問題とされております。しかしながら、県内各地においては、事業関係者の皆様のお力添えにより、地域学校協働本部や放課後子ども教室等の活動が地域に定着し、地域で子どもたちの成長を支援する取組が着実に成果を挙げております。

このような中、昨年6月に閣議決定された第3期教育振興基本計画において、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置の促進や地域学校協働本部の整備等により、全小中学校区における幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体の参画を通じた地域学校協働活動の全国的な推進を図るとともに、放課後や土曜日等の学習・体験プログラムの充実や企業等の外部人材の活用を進めていくことが求められています。

県におきましても、県教育基本方針・重点施策の第一に「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、その具現化を目指して市町教育委員会及び各関係団体と連携・協働しながら、「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の5つの教育支援活動の効果的な推進及び教育支援体制の充実に取り組んでいるところです。

この「集い」は、教育という枠組みを超えて、子どもたちの成長に関わる、保健・福祉、子育て支援、警察、企業、学生等の多様な立場の方にも御参加いただいております。

ます。そして、子どもを取り巻く多様な問題を共通課題としてとらえ、次世代を担う子どもたちの豊かな教育環境の構築に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携・協働した取組の一層の推進を図り、地域の大人一人一人の力を全ての子どもたちの愛顔のために幅広く生かしていただく契機となることを願って開催するものであります。

本日は、NPO法人アスクネットの前代表理事の白上昌子先生による御講演をいただくとともに、5つの個別テーマによる分科会での事例研究を通して、研修や情報交換を行うこととしております。

皆様方におかれましては、それぞれの立場や経験に基づいた様々な視点から活発な御協議をいただき、実りある研修となりますよう御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、本日御参会の皆様様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。